

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	市民生活部 地域活性課	担当課長名	藤本 智裕
(※)第2期実施計画の事業名	商工業経営者等育成事業	財務会計上の事業名	商工業経営者等育成事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1081 1	財務会計上の短縮番号	4395
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち	
	節	第8節工業の振興	
	項目	項目1創業の支援	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	商工業経営者等を育成・支援する
事業の対象 (誰を、何を)	創業間もない、または、新事業を起こそうとする中小企業者や企業家を目指す方
事業の手段・方法 (どのように)	企業育成室の入居者審査会を行う
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市企業育成室入居者審査会規則

2 事業費等

区分	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	H28/H27	
事業費(千円)	22	5	5	5	100.0%	
主な内訳	委員報酬	17	0	0	0	-
	消耗品費	5	5	5	5	100.0%
人件費(人・千円)	0.09 702	0.09 684	0.13 962	0.08 313	144.4%	
内訳	正職員	0.09 702	0.09 684	0.13 962	0.03 228	144.4%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時的任用職員	0	0	0	0.05 85	-	
支出合計 A	724	689	967	318	140.3%	
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他( )					-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	724	689	967	318	140.3%	
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容	施設管理において、すでに受益者負担を実施しているため。					

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	審査会に加え、弁理士による知的財産相談を実施
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	市の財産である施設の賃貸借に係る審査であるため、アウトソーシングになじまない。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予定)	目標値 (H30)
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	知的財産相談	回	0	1	0	1	1
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	企業育成室入居者審査会実施回数	回	2	0	1.0	3	2
	☆ <input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	企業育成室の入居率	%	100	71	57	100	100
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果						
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果						
成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	入居率が低下している状況で、今後「事始めアシスト池田」利用による優先入居制度も含めて事業をPRすることで、入居率を向上させる必要がある。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	企業育成室の入居・サポートにより意欲的な起業・創業を支援できる。「事始めアシスト池田」による優先入居制度も活用することで、利用者・管理者ともに効率的な運営を行う。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 25 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	知的財産相談の無償化	
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	知的財産の相談や企業育成室入居に係る審査を行うことは、中小企業等、市内産業の振興に資すると考え、現状維持とする。	
現在抱える課題と対策	課題	同様の施設が他市にも多く設置されるなか、より一層の周知活動が求められる。
	対策	事始めアシスト(商工会議所、池田泉州銀行、日本政策金融公庫)と連携し、周知を行っていく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	入居者審査をはじめ、事業展開の可能性も含め育成していく必要があり、市・会議所などの情報交換を密にし、卒業後の企業についても、相互に連携を図っていくことが重要である。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	市民生活部 地域活性化課		担当課長名	藤本 智裕
(※)第2期実施計画の事業名	いけだピアまるセンター管理事業		財務会計上の事業名	いけだピアまるセンター管理事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1081	1	財務会計上の短縮番号	4428
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち		
	節	第8節工業の振興		
	項目	項目1創業の支援		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	本市産業の創出・育成及び新産業の創出を図り、地域活性化を推進する
事業の対象 (誰を、何を)	創業間もない、または、新事業をおこそうとする中小企業者や起業を目指す方
事業の手段・方法 (どのように)	創業予定者等に安価で育成室を貸し出し、経営・技術相談や異業種間交流等のサポートを入居者に行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 12 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	なし

2 事業費等

区 分		26 年度 (決算)		27 年度 (決算)		28 年度 (決算)		29 年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)		5,888		6,051		6,084		6,131		100.5%
主な内訳	管理運営委託料	5,863		5,830		5,830		5,831		100.0%
	庁用器具費	25								-
	修繕料			221		254		300		114.9%
人件費(人・千円)		0.18	1,282	0.18	1,250	0.18	1,218	0.13	870	100.0%
内訳	正職員	0.16	1,248	0.16	1,216	0.16	1,184	0.11	836	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.02	34	0.02	34	0.02	34	0.02	34	100.0%
支出合計 A		7,170		7,301		7,302		7,001		100.0%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他( )									-
	うち受益者負担 B	2,161		2,647		2,532		1,822		95.7%
	一般財源 C	7,170		7,301		7,302		7,001		100.0%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A		30.1%		36.3%		34.7%		26.0%		95.6%
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容		入居者に対し、賃料として受益者負担を実施している。								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	企業育成室の管理及び企画運営
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	目標値 (H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	入居者数	室	7	5	4	7	7
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				28年度末は退去時期の関係で一時的に入居が4室となったが、事始めアシスト池田との連携などにより、入居希望の連絡を受けている。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に実施できているか			<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)				
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)				入居者からは、入居中のみならず退去後も継続して、市内での事業展開や他事業への協力など、メリットが生み出されているところではあるが、空室が生じており、設備の効率的な活用に向けて検討が必要である。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	今後も本市の活性化の推進及び円滑な入居者支援を継続して実施していく。	
現在抱える課題とその対策	課 題	経年および先の入居者の使用による企業育成室の劣化及び設備の充実
	対 策	定期的な清掃を実施し、建物への印象悪化を防ぐとともに、入居者会議の開催によって入居者の意見を集め、改善に取り組む。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	平成27年度に「事始めアシスト池田」を立ち上げ、創業支援を強化しているところであり、今後とも認定連携創業支援事業者(池田商工会議所・池田泉州銀行、日本政策金融公庫)と連携し、企業育成室の入居促進と効果的な創業支援を行う。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	市民生活部 地域活性課		担当課長名	藤本 智裕	
(※)第2期実施計画の事業名	事始め奨励事業		財務会計上の事業名	事始め奨励事業/委員報酬事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1081	1	財務会計上の短縮番号	4437/4375	
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち			
	節	第8節工業の振興			
	項目	項目1創業の支援			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	対象者への顕彰・賞金の授与により新技術・新製品の開発意欲を向上させ、本市産業振興の推進及びベンチャー育成を図る
事業の対象 (誰を、何を)	市内中小企業者及び創業予定者
事業の手段・方法 (どのように)	事始め奨励大賞への応募者の審査会を開催、受賞者を顕彰し賞金を授与する
実施期間	<input type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 時限(平成 14 年度～ 基金がなくなるまで)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市事始め奨励基金条例、同条例施行規則、事始め奨励にかかる報償に関する要綱

2 事業費等

区分		26年度 (決算)		27年度 (決算)		28年度 (決算)		29年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)		50		560		60		1,610		10.7%
主な内訳	賞賜金	50		550		50		1,600		9.1%
	消耗品費	-		10		10		10		100.0%
人件費(人・千円)		0.16	1,248	0.16	1,216	0.16	1,184	0.25	1,900	100.0%
内訳	正職員	0.16	1,248	0.16	1,216	0.16	1,184	0.25	1,900	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		1,298		1,776		1,244		3,510		70.0%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他( )									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	1,298		1,776		1,244		3,510		70.0%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
	上記の内容	受益者負担なしのため								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	池田市が顕彰・賞金の授与を行う事業であり、アウトソーシングになじまない。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	26年度	27年度	28年度	29年度	目標値 (H30)	
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)		
指 標 値	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	応募者数	人	4	2	3	3	5
		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	受賞者数	人	1	2	1	3	3
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		応募者数は目標に達しなかったものの、複数の応募者があり、受賞者も出ている。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		平成14年からの事業で10年以上経過しているが、毎年応募者がある。受賞者としても、市場から反響を得るとの感想があり、新技術・新製品の研究開発等創業支援には有効的である。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成23年度～平成27年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成28年度の取組(平成27年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	基金の残額を活用し、継続して実施していく。	
現在抱える課題と対策	課 題	事始め奨励大賞(百福大賞)賞金100万円が、現在まで1件しか出ていないこと。
	対 策	審査基準を見直し余地あり。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	新技術・新製品の開発などを顕彰し、PRを行うことにより、その起業の成長を促し、間接的にはあるが、本市産業振興に資すると考える。例年、応募者があるなか、今後も事業を継続していくなかで、賞に値する製品の掘り起こしも必要と考える。また奨励交付審査会委員について新たな推薦を検討する。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	市民生活部 地域活性化課		担当課長名	藤本 智裕	
(※)第2期実施計画の事業名	中小企業事業資金融資預託事業		財務会計上の事業名	中小企業事業資金融資預託事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1082	1	財務会計上の短縮番号	4430	
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち			
	節	第8節工業の振興			
	項目	項目2経営の合理化・安定化			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	長期化する不況に対応するために事業主が必要な資金を低利で斡旋し、中小企業の経営の安定と商工業の発展に努める
事業の対象 (誰を、何を)	池田市中小企業融資制度取扱金融機関(融資対象者は市内で6ヶ月以上同一事業を営んでいる中小企業者)
事業の手段・方法 (どのように)	池田市制度融資として貸付けるための原資を、取扱金融機関に預託する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 17 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市中小企業安定資金融資貸付規則、池田市中小企業融資制度要綱(大阪府市長村連携型融資制度)、大阪府中小企業融資制度要綱・要領

2 事業費等

区分		26年度 (決算)		27年度 (決算)		28年度 (決算)		29年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)		141,000		130,000		118,000		138,000		90.8%
主な内訳	預託金	141,000		130,000		118,000		138,000		90.8%
										-
人件費(人・千円)		0.11	858	0.11	836	0.24	1,605	0.10	583	218.2%
内訳	正職員	0.11	858	0.11	836	0.21	1,554	0.07	532	190.9%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0	0.03	51	0.03	51	-
支出合計 A		141,858		130,836		119,605		138,583		91.4%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他(預託金)	141,000		130,000		118,000		108,000		90.8%
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	858		836		1,605		30,583		192.0%
一般財源比率 C÷A		0.6%		0.6%		1.3%		22.1%		210.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
	上記の内容	受益者負担なしのため								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	金融機関による融資実績に基づき預託額を検討しているためアウトソーシングの余地なし

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	低金利での貸付	%	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
	☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	制度のPR(広報掲載)	回	2	2	2	2	2
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		金利については前年度同様、大阪府の同種制度に比較し0.5%引下げの1.1%を維持。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	池田市中小企業制度融資は大阪府市町村連携型中小企業融資の融資利率から0.5%引き下げた利率となっており、市内中小企業者の資金繰りの一助となる制度である。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 26 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	平成26年度から融資実績に応じた預託額としている。	
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	資産背景に乏しく、景気に左右され易い中小企業にとって活用し易い制度であり、今後も需要が見込まれるため、現状維持とする。	
現在抱える課題と対策	課題	預託金額の見直し
	対策	より利用実績に応じた金額へ適正化する
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	融資利率を維持するためには必要と認識するが、各金融機関の更に利用実績に対応した預託額とすることの検証・調整が必要と考える。	